

平成24年度研究科横断型教育プログラム(Bタイプ)授業科目

開講方式	Bタイプ (特別開講型)	研究科名	人間・環境学 研究科	横断区分	文理横断型	開講場所	吉田南総合館南棟 334 演習室
授業科目名	境界の諸相 (Various Aspects of Boundary)			講義担当者 所属・氏名	人間・環境学研究科 岡田温司 戸田剛文 中嶋節子 間宮陽介		
配当学年	修士 博士後期 専門職	単位数	1単位	開講期	5月8、15、22、29日 6月5、12、19、26日 (火)16時30分～18時	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕							
<p>異種の領域が接するところには、必ず境界が存在する。例えば、精神と身体、私的空間と公的空間、ある学問領域と別の学問領域、というふうに。このような境界に焦点を合わせ、境界それ自体に分析のメスを入れることは、きわめて重要であるにもかかわらず、境界論は特殊な例を除けば、ほとんど論じられていない。境界を考えることによって、種々の学問領域を横断する知見が得られるのではないか。あるいは境界論それ自体が1つの学問領域となりうるのではないか。本講義では、さまざまな角度から境界に光を当てる。</p>							
〔研究科横断型教育の概要・目的〕							
<p>人間・環境学研究科は文系、理系、さまざまな分野の研究を行う学際研究科であり、学際を超えて新たな研究領域を開拓することをその目的の1つとしている。本講義もまたそのような目的から開講されるものであり、受講生諸君の参考に供するのがねらいである。</p>							
〔授業計画と内容〕							
<p>講義(全8回)の構成は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義の目的と概要(第1回 間宮陽介) 2. 哲学における境界(第2、3回 戸田剛文) <ol style="list-style-type: none"> (1)心の中の体 (2)体の中の心 4. 美学における境界(第4、5回 岡田温司) <ol style="list-style-type: none"> (1)芸術における境界のゆらぎ (2)バロック芸術 5. 建築・都市における境界(第6、7回 中嶋節子) <ol style="list-style-type: none"> (1)建築の内と外 (2)境界の束としての都市—京都を事例として 6. 私的空間と公的空間のあいだ(第8回 間宮陽介) 							
〔履修要件〕							
なし							
〔成績評価の方法・基準〕							
出席とレポートによる							
〔教科書〕							
なし							
〔参考書等〕							
なし							
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕							
なし							